

◆ 平成30年度 活動報告シート ◆

団体名：原市沼を愛する会

21A-05

代表者：代表 飯坂陽治

URL : <http://haraitinuma.hatenablog.com>

1. 活動が必要とされた状況

上尾市・原市沼川のそばに蓮池を作り、古代蓮を育て始めて24年になります。蓮池は観蓮者が蓮に触れたり、匂いを嗅いだり、写真を撮ったり身近で楽しめるよう遊歩道で区切られた20の池からなり、多い時は来客数が1万人を越え、現在に至っています。

池の周りの土止めはベニヤ板と間伐材で作った木杭で行っていますが、4～5年も経つと腐って用をなさなくなるため、かなりの労力をかけて補修を行っています。土止め用に耐久性のある資材を使って耐用年数を伸ばし、年々高齢化するボランティアの労力軽減を図ると共に遊歩道の安全性を保持してゆくべく土止め補修を進めています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

外池・睡蓮池・鬼蓮池・白蓮池等の古い木杭やベニヤ板を除去し、耐久性資材として亜鉛メッキ鋼板（54cm×3m）と鉄パイプ（長さ2.5m）を用い、土手の補修を実施しました。実施時期は蓮の開花時期（6月～9月）で蓮池の一般無料開放が終わった後、10月末に主な補修作業を行いました（参加人数延べ15人）。その後約2か月仕上げ作業を行いました。



購入資材の搬入



古い木杭の引き抜き除去



池間の連結パイプ用穴あけ

3. 活動の成果

蓮池の土手補修は、今回でほぼ終わりました。2019年度の開花期の一般開放では、観蓮に訪れた方々や課外学習で来る小学生たちにも安全に見て回ってもらえると思います。



補修前の外池



補修後の外池（手前）・睡蓮池

4. 今後に残された課題

ボランティアの実働メンバーの平均年齢は約75歳を超えているが、我々の元気なうちに450輪も咲くようになった側溝の土手補修も完成させたい。蓮を見に来られる方々により安心して楽しんで頂けるものと考えています。